

第7回埼玉県競輪事業検討委員会 概要

- 日 時 令和5年3月23日(木) 14:00~15:00
- 場 所 大宮ソニックシティ 604会議室
- 出席者 岩崎康夫委員(委員長)、小川千恵子委員(副委員長)、小原千代委員
小沼航士委員、竹内春香委員、東角井真臣委員

■議事概要

- 1 会議の公開について
非公開とすべき情報は含まれないため、原則どおり公開とする。
- 2 議事
・埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について
資料を用いて説明

【議事内容】

- 小川副委員長
西武園競輪場の受託場外発売開催調整の再検討について質問です。日数に制限があって、良い日程を選んで発売したいということなのでしょうか。
- 事務局
西武園競輪場の受託場外発売開催調整の再検討については、近隣競輪場と売上を食い合うことを避けるために近隣競輪場と開催調整をしていたところですが、本当に効果があるのか、県収益の向上のために、検証するべきだという検討委員会での御意見を受けて、近隣競輪場と同時発売を行い、その際の売上について、今回御報告させていただいたところです。
場外発売の日数について、法律等での制限はありませんが、地元自治会との話し合いの中で、場外発売の日数を決めています。そのため、自治会との調整が整えば、発売日数を増やすことは可能ですが、例年130日程度の場外発売日数となっているのが現状です。本県は収益先取方式を採用していますので、売上を上げれば上げるほど県収益は増加します。その一方で近隣競輪場は直営方式ですので、開催する以上は、少しでも多くの売上を上げたいという事情もあろうかと思えます。来年度以降も、同時発売を続け、効果を検証してまいります。
- 竹内委員
この課題への対応は、県がやったことですか。それとも委託事業者である日本トーターさ

んがやったことなのでしょうか。

○ 事務局

県が実施している業務になります。具体的には、県が委託料を支払って、委託事業者の日本トーターが実施しております。

○ 岩崎委員長

当面の課題への対応について説明をいただいております。ここで、私の方から附帯決議に関連してスーパーボールパーク構想の検討状況について、担当課から話を聞いてまいりましたので、御紹介します。

大宮スーパーボールパーク基本計画の策定のため、3月に委託事業者を選定、契約し、各競技施設の配置、規模や公民連携手法などに関し、調査検討を行い、エリア全体の基本計画案の策定を行うと聞いています。

基本計画をどのように作っていくか、令和5年度に進めるということで、各競技施設の整備内容、整備手順やにぎわいづくりの検討、管理運営を含む公民連携の事業スキームやスケジュール、概算事業費、サウンディング支援などの検討が進んでいくと思います。

双輪場だけどうするかという、議論をするのか。スーパーボールパーク構想の中でどのようなかたちになるのか、それを見ながら議論するのか。スーパーボールパーク構想の進捗を見ながら検討を進めていくことが必要と考えます。

○ 東角井委員

今、委員長さんがおっしゃったように、「一場体制を視野に期限を決めて検討すること」と県議会の附帯決議には一場体制を謳っています。また資料にある売上の表を見ると、大宮は本場売上が弱い。あと西武園と売上の差があります。インターネットでの車券購入者が増えていますし、例えば西武園の一場体制にして、大宮は場外発売だけ、つまりモニターを見ながら競輪ファンが集まって、車券を買う。ただし、レースはそこでやらない。西武園競輪場のレースの放送をしたりする。そういうことを考えている人もいるのかなと勝手に私は思っているのですけれども、大宮公園グランドデザインの時に私もちょっと関わって、大宮公園グランドデザイン検討委員会というのを埼玉県がやっていました。私の記憶だと、サッカー場、野球場、競輪場、その3つを1つにして、オールマイティなスタジアムを作る。大宮アルディージャさんが一番集客力を持っているので、真ん中に芝生のサッカーをする場所があって、周りにもしかしたら、バンクがあって、ナイターもできるような、ドーム型の施設そんなイメージです。そのような大宮公園のグランドデザインができていますので、そのような方向になるのではないかなと私は個人的に思っていますし、そうなって欲しいなと市民として思っています。公園の半分以上が、スタジアム3つに占められているというのは地元としては、普通の自然公園じゃなくて、運動公園に成り下がっている感じがします。こ

の委員会でそこに踏み込んでいいのかということとは分からないのですけれども、そこは皆さんの意見も聞いてみたいと思います。

○ 岩崎委員長

この附帯決議を見ると、今後の検討委員会では、色々な案を検討しながら進めていくという形になると思います。

いずれにしても、検討するためには、大宮スーパーボールパーク構想の進捗状況や各競技施設の整備計画、先ほど委員からお話のありました西武園との関係など様々な要素があり、多岐に渡る検討が必要と考えています。

○ 東角井委員

売上も増加していますからね。事務所の皆さんの力でいろんなイベントやっていますし、インターネットの売上が増えているというのも大きいと思います。社会が変わってきている。この辺りを考慮して考えないといけないです。

○ 岩崎委員長

売上の向上が一つ大事なところですね。県財政への貢献が根本ですので、そのために具体的にどのような課題があるのかということですね。

先ほど申し上げたようにインターネットにより、投票の仕方は変わり、コロナ禍になって加速度的にテンポが早くなっていると感じております。そういう点も踏まえながら、検討しなければならないと考えています。

その他に当面の課題についての対応等について、御意見ございましたら、お願いします。

○ 小原委員

今回の資料を見て、検討してきた課題に対して真摯に対応してくださっているので、本当に感心しました。今回の附帯決議との関連でちょっと気になることがあります。例えばこの入場料の無料化、これも今回無料化を見据えたイベントを実施して集客にも成功していて、素晴らしいと思います。あと施設に対しての、カメラの設置とか、いろいろ経費の削減に対応していただいているのだなと感じました。ただ、この検討委員会で売上を上げて経費を削減していくという観点から見たときに、もしも一場体制という方向になっていくのであれば、どこに重点を置くのかが変わってくるのかなと思います。施設にどれだけお金をかけるとか、或いはその入場無料化ということについても、その分だけ、県収入が減るわけですよね。一場体制という方向になった場合、それだけの意味があるのか。業界全体を盛り上げて収益向上を目指すという観点を重視するのであれば意味もあると思いますが、今後の大宮双輪場の方向性との関連でどういう対策をやってくかということも考えていく必要があるのかなと思います。それが1点です。

あともう 1 点は私がこの委員会で申し上げていいことなのかと、いつも思いながら申し上げてきたことなのですけれども、ギャンブル依存症についても対応してくださっていて、有難いと思っております。今回大宮公園の入場料無料化で、若年の方、若いファミリー層の方にターゲットを絞っていくのであれば、県の事業としては、ギャンブル依存症に配慮した取組を充実させてくということ、逆に皆さんが安心して競輪をするという意味でも重要なことだと思います。

今回 1 人、入場禁止措置を実施したということなのですが、これはインターネットのアクセスについても制限されるのか。どのくらいの申し出があって、それに対してどのぐらいの適用がされているのか。なるべくきちっとそういうところを県が対応して欲しいなと思えますし、問題がある方には専門機関を勧めていただきたいと思っています。この 1 年で、どの程度の申し出があり、どのように対応されたのかということをお教えいただければと思います。

○ 事務局

この件に関しては、御家族の方から県の方に申し出がありました。それを受けて、すぐに発動したというわけではなく、警備を担当している警察の職員や県営競技事務所の職員が何回もヒアリングを行った上で、競輪場に入るといって本人の権利を侵害する部分もありますので、その辺りは大丈夫かという確認を、御家族の方も含めてお話をし、最終的に発動したということになります。

○ 小原委員

御家族の方から申し出というのは、今まで 1 回だけなのですか。

○ 事務局

平成 30 年以降、実際発動した例も 1 件ですし、御家族の方から相談を受けるということも含めて 1 件です。

○ 小原委員

そうであれば、こういうご相談を受けられますということをもっと周知してもいいのかなと思いますので、御検討ください。

○ 岩崎委員長

ありがとうございます。他にありますか。

○ 小沼委員

本当に皆さんお話ししているように、課題に対して、しっかり取り組んでいただいて、着実

に歩みを進めていて、御対応されている皆様には本当に尊敬の念を感じた上で、今まで皆さんがお話していた流れも踏まえ、この検討委員会自体の位置付けについて確認したいのですが、今回初めて、議会の附帯決議の話が出てきて、大宮公園スーパーボールパーク構想に対して大宮双輪場がどうあるべきかという課題に、どう向き合ったらいいのか、というところに、正直戸惑っています。「使用期限を明確に」といったことまで書いてあるので、我々がそれに対してどうこう言うべき立場なのか、元々、この競輪事業が県民のため、より良くあるべきというところでスタートして始まったと思うので、我々が大宮スーパーボールパーク構想について検討するべき役割なのかというところを知りたいです。

もう1点、県民のためということもしっかり考えないといけないですし、近隣住民の皆さんのことも含めて考えないといけないなと改めて思いましたが、その上で、大宮アルディージャとしては、この委員会でのスポーツ担当としての立場で言いますと、スポーツとしての競輪を見たときに、GIのレースが収益を上げて注目を集めているという点で、日本のトップアスリートである競輪選手たちが西武園競輪場でレースをしている、日本最高峰のレースをしているというのは、埼玉県の手選手にとってもやりがいになると思いますし、もしかしたら、無料化のアイデアも出ましたが、小学生や中学生が、生のレースを見て感動したり、自分もあんなに早く走りたいという気持ちも出てくるのではないかな、と思ったので、スポーツとしての可能性は、この検討委員会の中でもしっかり議論できたらいいのではないかと思います。

その他に、いくつかトピックで言いますと、私は県の公園スタジアム課の事業にも関わっていて、次世代の大宮公園を考える会というのがあるのですけれども、それは去年いわゆるかいぼりをやったチームです。それこそ官民連携で、民間企業さんの発案もあり、事業としては同じ埼玉県の事業ですが、盛り上げるために色々な企業さんが一緒にかいぼりを実現しました。今後、桜ボランティアさん、大宮第二・第三公園なども含めて一緒に盛り上げるようなスタンスがあってもいいのではないかと思います。

少し戻りますが、大宮競輪を今後どうすべきなのかということを考えるのであれば、この検討委員会では、その(検討のための)情報が少ないと思います。老朽化というのであれば、現状維持の場合の設備コストがどのくらい増すのか、などの情報が必要だと思います。

また、ステークホルダーの皆さま、日本トーターさんを始め、選手会の意見も必要ですし、そういった意見が出揃った上で、我々としてこう思いますということを見解すべきではないかなと思います。これからのことを踏まえ、我々が検討する立場であるとしたら、そういった情報がないと、判断できないのではと思います。

その上で、実は昨年、大宮アルディージャはボートレース戸田さんと連携協定を結び、一緒にスポーツと埼玉県を盛り上げていくことになりました。ボートレース戸田さんは、アルディージャの試合の冠協賛をしていただきました、我々の試合ではボートレース戸田さんはPRを行い、スタジアムに疑似ボードを持ってきていただいて、VRで乗車体験など行いました。逆に我々はボートレース戸田さんに行って、サッカーイベントをして、連携していま

す。そういった形で大宮競輪さんと、アルディージャ或いは他のスポーツクラブも一緒に盛り上げるみたいなこともできるのかと思いますので、この場を借りて御報告させていただきました。

○ 岩崎委員長

先ほど一番大事なところでこの委員会に求められることは何かという話がありました。附帯決議が出てきて、一場体制など、期限を決めて検討するよというということもありました。私はこの委員会では、包括外部委託の発注にあたり、適正に事業者を選定すること、現状の中で、競輪の売上向上を検討すること、それらを含めた中長期及び当面の課題の整理を行うこと、その議論のために委員の皆さんも、各分野の代表として、この委員会に参加していただき様々な御意見をいただきました。今後は、附帯決議の対応方法、スーパーボールパーク構想も含めて、今後の競輪場のあり方については、これに関わる様々な情報の提供、競輪場運営に関する専門分野の方々からの意見聴取が必要と考えております。

今回でこの2年間の期限を迎え、委員は一旦任期満了となりますので、今後の委員会の運営については事務局で御検討いただくということで、よろしいですか。

<委員一同、同意>

以上